

## 第2回 花山・芳山地区保全・利活用部会 議事要旨

日時 : 平成26年2月19日(水) 午前9時30分～11時30分  
場所 : 奈良県文化会館 第3会議室  
出席者 : 部会長 田中 和博  
委員 花山院 弘匡、五條 良知(代理)、宮城 俊作、寺岡 伸吾  
事務局 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局奈良公園室  
関係部局 林野庁奈良森林管理事務所、奈良県農林部林業振興課、  
奈良公園管理事務所、奈良県教育委員会文化財保存課

議題 ○花山・芳山地区の保全・利活用について  
○檜皮採取実験結果報告(3月、10月)について  
○その他地域での檜皮採取の可能性について  
○今後のスケジュールについて

### 議事要旨

- 花山・芳山地区の保全・利活用について
  - ・適正な管理・育成の実施に向けて、施業道等のインフラの状況についても把握すべき。
  - ・10、11 齢級の林分の立木密度の管理・育林体系を構築する。
  
- 檜皮採取実験結果報告(3月、10月)について
  - ・今回の荒皮採取実験の結果を踏まえ、平成33年以降の黒皮採取計画を具体的に検討すべき。
  - ・奈良公園の基金を活用し、花山・芳山地区の保全・利活用に携わる民間団体の設立に取り組んでいる。
  - ・その団体が立ち上がることで、花山・芳山地区で採取できる檜皮をストックする場所の確保、県内檜皮葺建造物への提供など、具体の取り組みの検討が進む。
  - ・花山・芳山地区で採取された檜皮が、春日大社や金峯山寺など、少しずつでもいいので県内檜皮葺建造物に目に見える形で葺かれていくことに意義がある。
  - ・例えば、春日大社であれば平成38年度に屋根葺き変えの作業を予定している。そのタイミングを踏まえながら、スケジュールに基づき花山・芳山地区での檜皮採取の作業を進めるべき。
  
- その他地域での檜皮採取の可能性について
  - ・花山・芳山地区をモデルに、その他地域へも檜皮採取の仕組みづくりを汎用していくためにも、荒皮剥きと黒皮剥きをセットに考えながら実施体制のあり方を検討する必要がある。
  
- 今後のスケジュールについて
  - ・来年度以降は、本部会は①適正な管理・育成、②利活用のテーマをメインに、議題に併せて有識者を招聘して勉強会を開催し、その結果に基づいて具体の方針を検討すること

を承認した。

○まとめ

- ・ 檜皮採取が可能な18歳級以上のヒノキ林は、作業スケジュールを参考に進める。
- ・ 安定して檜皮採取ができるよう、10、11歳級の林分の管理・育成方法を検討する。
- ・ 檜皮採取の仕組みづくりは、荒皮と黒皮とのセットに実施体制を検討する。
- ・ 基金を活用した具体の体制づくりについては、春日大社、金峯山寺などの意向をふまえながら、次回部会に向けて論点を整理する。